

## 第1回上板町水道事業運営審議会議事録

日 時 令和2年11月20日（金）午後6時57分～午後8時05分

場 所 上板町役場2階 中央公民館 大会議室

出席者 [運営委員] 10名

[水道事業管理者] 町長

[事務局] 4名

[関係者] アドバイザー1名

会次第 1 開会

2 町長挨拶

3 審議会委員及び事務局紹介

4 会長・副会長の選出

5 会長挨拶

6 諮問

7 議事

(1) 審議会の審議概要の公表について

(2) 上板町水道事業運営審議会について

(3) 水道事業のしくみ

(4) 水道事業経営の現状と課題

(5) その他

8 閉会

## 【配付資料】

会次第、上板町水道事業運営審議会委員名簿、上板町水道事業審議会条例、

「上板町水道事業運営審議会について」

「水道事業のしくみ」

「水道事業経営の現状と課題」

「諮問書(写し)」

## 審議経過

### 1 開会

開会の挨拶、委嘱状の事前配布説明

### 2 町長挨拶

松田町長 挨拶

### 3 審議会委員及び事務局紹介

### 4 会長・副会長の選出

会長及び副会長の互選については、委員より事務局一任との提案により事務局案を提案し、承諾された。

会 長 本田利広（四国大学経営情報学部長）

副会長 和田良一（元上板町役場理事兼水道課長）

## 5 会長挨拶

本田会長 挨拶

## 6 諮問

町長から会長へ諮問書のとおり諮問がなされた。

(町長退席)

## 7 議事

### (1) 審議会の審議概要の公表について

事務局から説明

#### 【質疑なし】

審議会は公開とし審議概要などを公表すること、また傍聴者についても会長判断で原則認めることに決定された。

### (2) 上板町水道事業運営審議会について

### (3) 水道事業のしくみについて

事務局から一括して説明

#### 【質 疑】

委 員

重要管路である導水管と送水管を耐震化するには、どれくらいの工事費用が必要で、工事着手はいつ頃を考えておられますか。

事務局

導水管延長が3 km、また送水管延長も約3 kmで、工事費用としては1 mあた

り8万円以上の工事費が必要で、数億円の大規模なものとなると思われます。

水道課としては、水源地開発及び電気計装設備更新事業が完了してから、重要管路更新に着手させていただく方針でございます。

詳細につきましては、第2回の審議会で管路工事計画を含めた費用説明をさせていただきます。

#### (4) 水道事業経営の現状と課題について

事務局から説明

##### 【質 疑】

委 員

事務局の説明によると、令和6年度以降赤字経営になるとのことですが、これは給水人口の変動を見込んでのことですか。

事務局

財政シミュレーションについては、国立社会保障・人口問題研究所が公表している将来の人口推計に水道普及率を掛けて給水人口を求め、それに過去5年間の1人あたり平均使用水量を導入し供給単価を掛けることにより、想定される各年度の給水収益を計上したものです。

令和元年度の決算数値では、前年比1.3%給水収益が減収しており、通年の運転経費以外の特別な事業を実施しなくても令和6年には赤字経営になると予想されます。

委 員

水道料金ですが、基本料金1,000円+メーター料金50円で消費税を含み1,150円とのことですが、単純に基本料金を2,000円にすれば大丈夫なのですか。

事務局

第2回の審議会において、施設更新を踏まえ、いくつかの水道料金パターン案を提示させていただきたいと思いますので、次回の回答とさせていただきます。その際、委員皆様にご審議いただきたいと思います。

委 員

年間2kmの老朽管更新の予定とは、どのような根拠からきていますか。

事務局

1年間に施工出来る工事は、無限ではありません。現実的目標値として2kmとしています。

老朽管は年々増えていきますので、本来は年2km施工では間に合わないのですが、現状より水道管路の老朽化を防ぐため、2km更新を目標とさせていただきます。

委 員

新しく設置する高礫水源地と佐藤塚北水源地の場所は決まっているのですか。また調査は実施していますか。

## 事務局

水道課では、人口増加を踏まえ、既に高礫水源予定地につきましては水脈調査を行い、用地を確保しております。しかしながら試験井戸による水質検査は実施いたしておりません。

佐藤塚北水源予定地につきましては、国が20数年前に国営事業のため、試験井戸による水質検査した井戸を、用地交渉により取得しています。しかし前調査から20数年以上経過していますので、再調査を実施させていただきます。

## 委員

説明では、水源地に必要な調査はしていないとのことですので、もし水源地として適さない場合は、別の用地を購入されるのですか。

例えば、大地震など災害があり、既設水源地が被害を受けたから、すぐ予定地を掘れば水源地になるものではないと思いますが、どうですか。

## 事務局

ご指摘のとおり、深度80m計画の深井戸ですから大地震等により水脈のずれが生じる恐れがあります。水源地として適さない場合は、新しい用地を確保いたします。

## (5) その他

議事録署名について、協議

### 【質疑なし】

委員名簿の順番に2名ずつ、署名することと決定した。今回、第1回の議事録署名

人は名簿1番目の本田利広会長と、名簿2番目の和田良一副会長とする。

次回の審議会の日程について、協議。

【質疑なし】

次回は、12月15日（火）午後7時30分から開催で承諾された。

なお、会場については事務局が手配することを確認した。

8 閉会